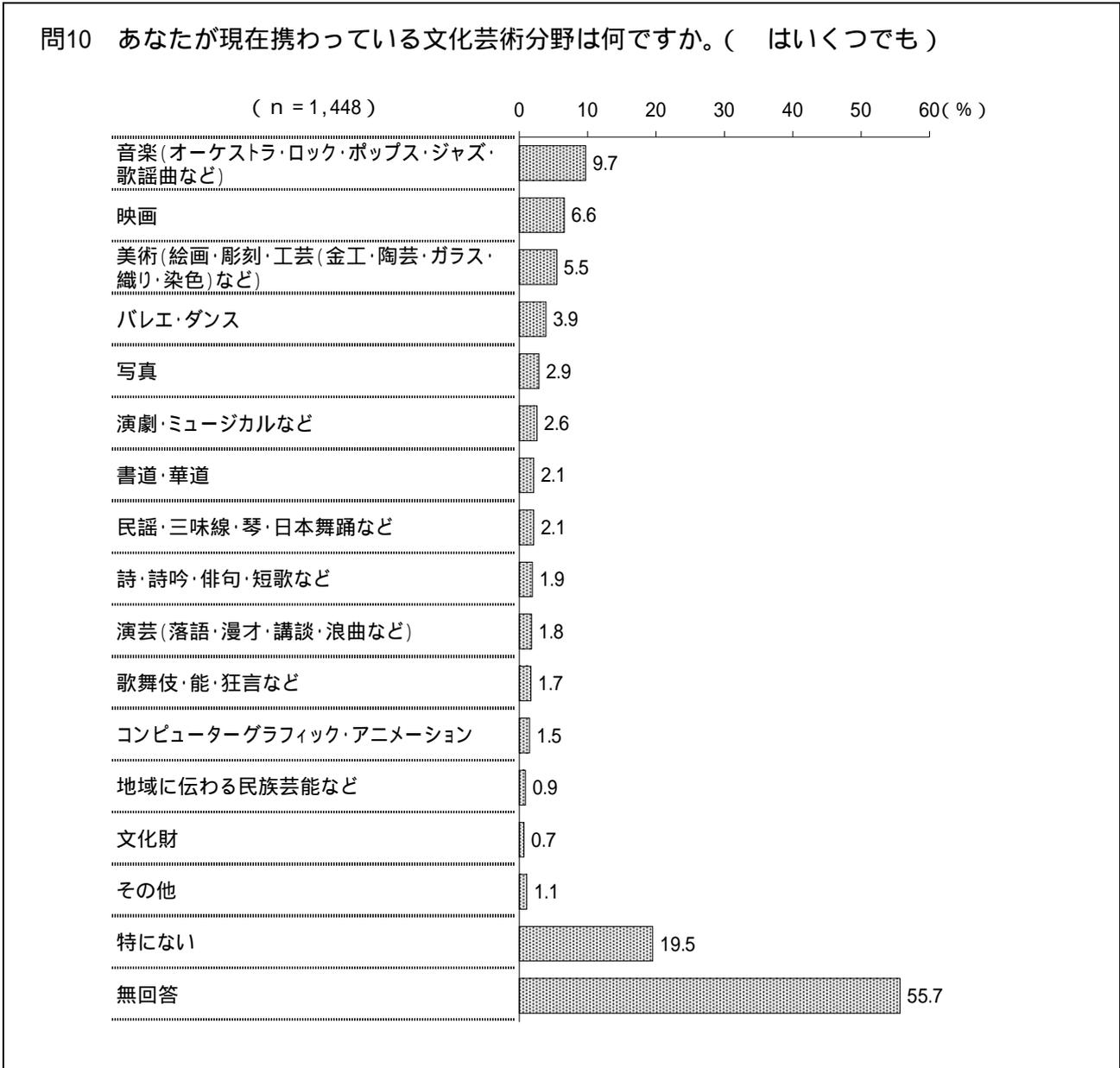


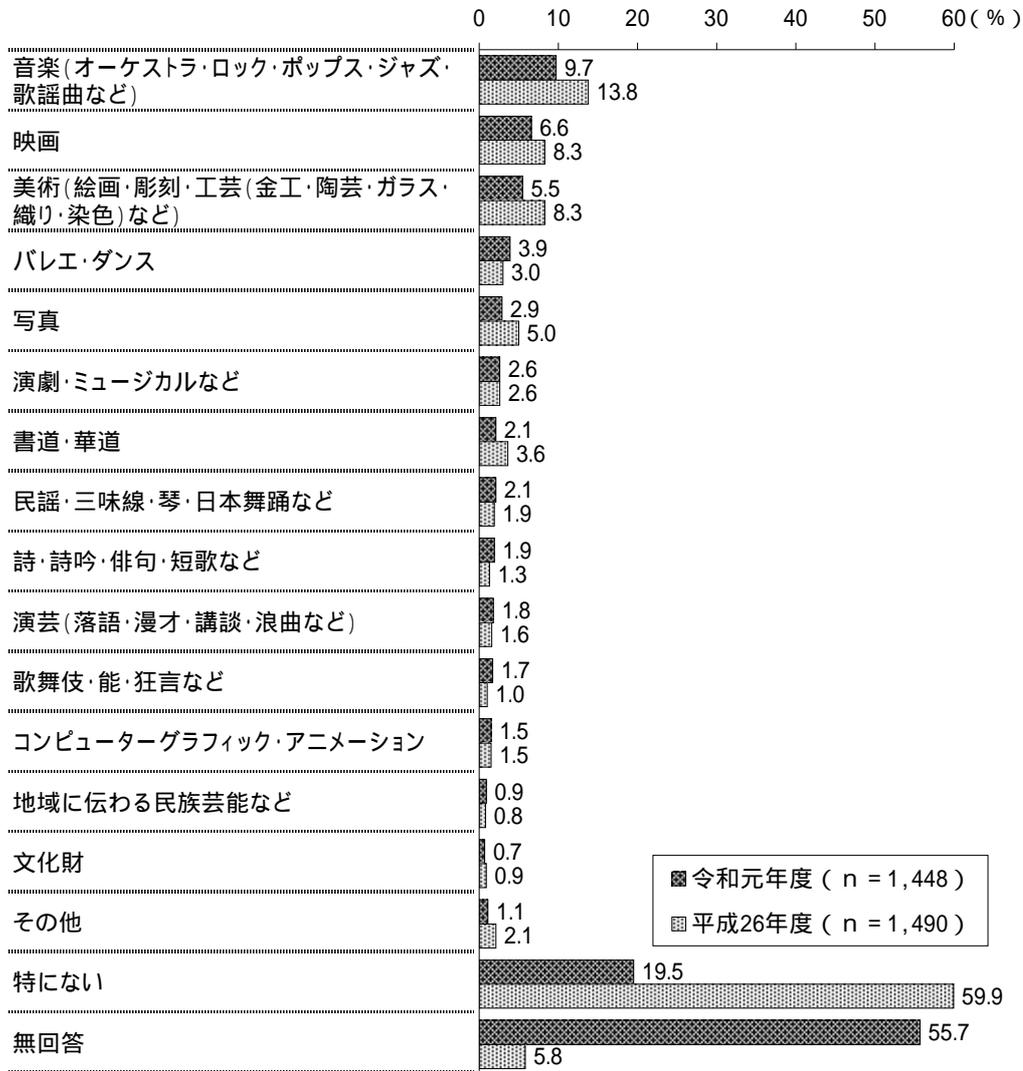
(4) 現在携わっている文化芸術分野



現在携わっている文化芸術分野をたずねたところ、「音楽(オーケストラ・ロック・ポップス・ジャズ・歌謡曲など)」(9.7%)が1割で最も高く、次いで、「映画」(6.6%)、「美術(絵画・彫刻・工芸(金工・陶芸・ガラス・織り・染色)など)」(5.5%)と続いている。一方、「特にない」(19.5%)は2割となっている。

< 経年比較 >

過去の調査結果との比較は、選択肢が変更されているため参考にとどまるが、「音楽（オーケストラ・ロック・ポップス・ジャズ・歌謡曲など）」は平成26年度より4.1ポイント減少している。



「特にない」は平成 26 年度調査では「携わっていない」としていた

<性別・性/年齢別・区別結果> (上位10項目)

性別でみると、「バレエ・ダンス」は女性が男性より3.3ポイント高くなっている。

性/年齢別でみると、「映画」は女性50～59歳で1割を超えている。

区別でみると、大きな違いはみられない。

